

本日は、暑さ厳しい折、また、お忙しい中にもかかわらず、第2回 福山市小中一貫教育推進懇話会に御出席いただきありがとうございます。

さて、6月5日の第1回懇話会では、「変化の激しい社会を生きる子どもたちに求める姿」をテーマとして協議していただきました。

皆様方から、子どもたちに求める姿や力について、

- ・ 夢や希望に向かう姿、自立できる力、粘り強さ・我慢強さ、互いに助け合える力
- ・ 地域に合わせた福山らしい小中一貫教育の創造が必要

などの御意見をいただきました。

皆様方の御意見は、項目ごとに整理し、校長研修や小中一貫教育担当者研修等において報告させていただきました。

各中学校区においては、校区推進会議等で方向性を確認しながら、様々な取組みを行っています。詳しくは後ほど説明をさせていただきますが、地域の方々の協力も得ながら、それぞれの特色を活かした取組みを進めております。

この間、福山市立大学の小野先生には、7月30日の小中一貫教育担当者研修において「『小中一貫教育』の現状と課題 カリキュラム・自ら学ぶ力に着目して」と題して講義を行っていただきました。

また、本会座長の小原先生には、8月2日の福山教育フォーラムにおきまして「変化の激しい社会をたくましく生きる力を育むために、福山市小中一貫教育に望むこと」と題して講演をいただきました。

このフォーラムでは、市内幼稚園・小中学校教職員の87%にあたる1,800人以上が参加し、小中一貫教育の創造と指導力向上のための研修を行っております。

いずれも、今後の本市小中一貫教育推進のための、貴重な御示唆をいただきましたこと感謝申し上げます。

本日の協議では、「福山の誇り・福山人としての誇り」をテーマとして、委員の皆様の実験等に基づいた率直な御意見をいただければと考えております。

どうぞ、よろしくお願い致します。